



地域救命救急センター開設

JA 広島総合病院
地域救命救急センター長 中尾 正和

2011年4月に地域救命救急センターが開設致しました。地域救命救急センターは既存の救命救急センターを補完する小型の救命救急センターとして位置づけられ、全国では4番目になります。

本来、救命救急センターは三次救急を担う施設です。二次救急(入院・手術が必要)では対応困難で、より高度な医療を必要とする疾患(急性心筋梗塞・脳卒中・頭部外傷)や、複数診療科領域にまたがる多発外傷を診療します。しかし、ご存知のように、広島県西部においては規模・設備などから、当院が従来から行ってきた二次救急を担当せずに三次救急のみに専念できる環境にはありません。そのため今後も二次救急と三次救急の両方を担って参ります。

【内部構造】

新築の3階建てと既存のICUを加えたものです。〈図1〉

〈図1〉



夜間・休日に関しては下記のような基本方針として、〈図2〉のような体制で開始しております。

地域救命救急センターの基本方針(夜間・休日)

- ・地域のニーズに応えよう
- ・救急車を原則断らない(受入容量には限界があります)
- ・当直の中核となる救急専従医を配する
- ・救急病棟はICU(既存の14床→11床)+新築地域救命救急センター2階の救命HCU(8床)の19床で運用する
- ・夜間の入院は原則救命救急センターで受ける

【実績】

開設された4月の運用実績を昨年の4月と比較しました〈表1〉

〈表1〉

	2010年4月	2011年4月	増減
受診者数	495	575	↑
救急車搬送患者	239	242	↑
(広島西圏域の内数)	112	163	↑
断り患者	48	25	↓
入院患者数			
HCU	—	95	—
ICU	53	34	↓
一般病棟	147	81	↓
直接来院	11	36	↑

現在、救急車の断り件数をほぼ半減できております。しかし、夜間の時間帯で重症患者さんの受入要請が重複した際にはマンパワー的に困難であるため、今後の課題です。

当センター3階で毎朝行われるカンファレンス(写真)では医師、看護師、薬剤師、事務を含めた多職種の職員が一同に集まります。前日の救急車の受け状況・断りの有無などを検討し、問題点をすみやかに見直す体制をとっています。

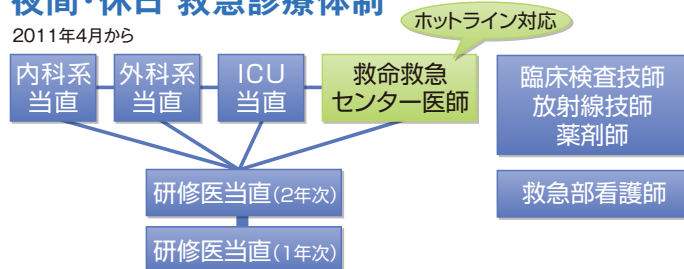


まだ生まれたばかりの地域救命救急センターです。当センターの医療資源も限界がありますので『一次救急も』というご要望にはまだ対応ができておりません。しかし地域の住民・行政・医師会と強い結びつきをもち、今後ともみなさんに愛され、信頼される病院になるように成長し、末長く地域の健康を守る砦としてがんばりたいと思います。引き続き、ご指導、ご支援とご理解をお願いいたします。

〈図2〉

夜間・休日 救急診療体制

2011年4月から



泌尿器科

the urology department

東棟 / 2F

平成18年5月の『せと』に、泌尿器科の紹介を書いてから5年が経過しました。この5年間で変わった事を紹介致します。

- ①前立腺内に局限した前立腺癌の手術(前立腺全摘出術)が、5年前の年間20例から40例を越すようになりました。その理由は、手術適応患者さん(早期癌)の増加と、経験を重ねることにより、合併症(出血、術後尿漏れなど)がほとんど起こらなくなったことが挙げられます。このため手術時間も現在では2.5時間と5年前より1時間ほど短縮されました。
- ②前立腺癌のもう一つの治療の中心である抗男性ホルモン療法が有効でなくなった症例(ホルモン不応性)では、その後の治療が困難なことがありました。しかし新しい抗雄剤(タキサン系注射薬)が認可され治療の幅が広がりました。外来治療が可能で、入院の必要はありません。副作用もそんなにひどくはありません。
- ③腎臓癌に対する治療として分子標的治療薬(内服薬)が開発され、転移性腎臓癌の治療も進化してきました(3種類あり)。しかし、副作用がかなりあること、また薬が高額なことが少し気になります。
- ④前立腺肥大症の新しい内服薬が開発され、有効な事が多く、手術(TUR-P経尿道的切除術)が若干減少しました。外科医としては少し残念な気がしますが、技術は進歩していますので手

術適応のある患者さんには積極的に勧めています。

- ⑤体外衝撃波の機械が新しくなりました。ドルニエ社製の新機種になり、碎石力がアップしました。これにより治療回数が減少しました。
- ⑥最後にスタッフが変わりました。長年勤められた廣本医師が定年退職され、平成21年より小深田が主任部長を務めています。また、平成23年4月より丸山医師が赴任され、縦横無尽の活躍が期待されます。しかし、残念なのは、常勤医師が3人に減ったことです。このため皆さまにはご迷惑をお掛けするかもしれませんが、何卒よろしくお願致します。



診療部長
泌尿器科主任部長
小深田 義勝

結石破砕担当
主任部長
丸山 聡

副部長
池田 健一郎

新任医師のご紹介



呼吸器内科

ヤマオカ チヒロ
山岡 千尋

広島大学病院での初期研修を終了し、4月から呼吸器内科に勤めさせて頂くことになりました。専門に入ったばかりで、まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願致します。



腎臓内科

アラカワ テツジ
荒川 哲次

4月から腎臓内科で勤務させて頂くこととなりました。広島県西部の地域医療に少しでも貢献できるよう精一杯頑張る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。



腎臓内科

ヨシダ ケン
吉田 健

県立広島病院で2年間の初期臨床研修を終えて、4月より腎臓内科の一員として勤務させて頂くことになりました。至らない事がまだまだありますが、力をつけていける様に頑張りますので宜しくお願い致します。



糖尿病・代謝内科

アキヤマ トモコ
秋山 朋子

4月よりJA広島総合病院でお世話になることになりました。3月までは呉医療センターに勤務しておりました。少しでも早く慣れ貢献出来るよう努力します。宜しくお願い致します。



消化器内科

ノナカ ミチヒロ
野中 裕広

広島大学病院、三次市立三次中央病院での勤務を経て赴任いたしました。消化器内科、中でも肝胆脾領域を専門としております。地域の医療に少しでも貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



循環器内科

サクラ タクオ
佐倉 拓朗

県病院での2年間の初期臨床研修を終えて、この度、循環器内科で勤務させて頂くこととなりました。患者さんに信頼される医師を目指し頑張ります。宜しくお願い申し上げます。



一般外科治療センター

ナカムラ ヒロユキ
中村 浩之

4月より外科に勤務させて頂くことになりました。消化器外科、一般外科を専門にしております。広島県西部の地域医療に貢献できるよう、頑張ります。宜しくお願い致します。



乳腺外科

カンノ エミコ
菅野 恵美子

この春より乳腺外科で勤務させて頂くことになりました。平成19年山口大学卒で、3月までは広島市民病院に勤務しておりました。少しでもお役に立てるよう、日々精進して参ります。



救急・集中治療科

ムラカミ ヒロミチ
村上 大道

4月から地域救命救急センターで勤務することとなりました。救命救急センターは地域における最後の砦です。救急車の受入れ要請を断ることなく、365日24時間体制で地域に貢献していきたいと思っております。



麻酔科
ホンダ リョウコ
本多 亮子

高校卒業以来、広島を離れておりました。久しぶりに帰ってきました。地域社会に貢献できるよう頑張りたいとおもいます。



麻酔科(歯科麻酔)
オオウエ カナ
大植 香菜

4月から麻酔科で勤務させて頂くこととなりました。出来るだけ多くの知識、技術を身につけていけるよう日々努力を怠らず努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



整形外科
ハシモト タカシ
橋本 貴士

この4月より勤務させて頂くことになりました。地域の皆さまの日常生活動作のレベル低下を防ぐために努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



整形外科
スミヨシ ノリヒコ
住吉 範彦

4月から整形外科で勤務させて頂くこととなりました。平成17年徳島大学卒で3月までは広島市立安佐市民病院に勤務しておりました。少しでも地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



整形外科
シミス リョウジ
清水 良

平成19年に広島大学整形外科に入局後、中電病院、庄原赤十字病院にて研修をおこなってきました。まだまだ未熟者ですが、地域医療に貢献できるように頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。



産婦人科
ミナカワ シオリ
皆川 詩織

4月から産婦人科で勤務させて頂くことになりました。平成20年広島大学卒で、3月までは広島大学病院に勤務しておりました。日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



泌尿器科
マルヤマ サトシ
丸山 聡

この度、泌尿器科で勤務させて頂くこととなりました。昭和63年広島大学卒で、その後尾道総合病院、大学院、三次市立三次中央病院に勤務して参りました。これまでの臨床経験を生かして広島県西部の地域医療に貢献して参ります。



画像診断部
ニシキ マサヨ
西亀 正代

4月から画像診断部で勤務させて頂くこととなりました。2年の研修を終え、1年間大学に勤務して参りました。まだまだわからない事の方が多いですが一日も早く地域医療に貢献できるように頑張りますので宜しくお願ひいたします。



小児科
ヒグチ コウショウ
樋口 公章

この度、小児科で勤務させて頂くこととなりました。3月までは広島市民病院新生児科に勤務しておりました。これから広島県西部の小児医療に貢献できるように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



歯科口腔外科
ヤスダ マサミ
安田 雅美

広島大学病院で卒後研修を受けた後、一般開業医にて勤務しておりましたが、この度、歯科口腔外科にて勤務させて頂く事になりました。一日も早くJA広島総合病院での医療に慣れ、貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひします。



臨床研修医
イノウチ ナオキ
石内 直樹

4月から、臨床研修医としてJA広島総合病院にお世話になることとなりました。まだまだ未熟者ですが、日々研修を通して、多くのことを学び早く医療に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願ひします。



臨床研修医
ワカイ マサキ
若井 雅貴

この度、鳥取大学を卒業し、JA広島総合病院で研修をさせて頂くこととなりました。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願ひ申し上げます。



臨床研修医
トクモ ケンタロウ
徳毛 健太郎

広島大学を卒業し、4月より臨床研修医としてJA広島総合病院でお世話になることとなりました。修行の身ではありませんが、少しでも地域に貢献できるよう、力の限り頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。



臨床研修医
イノウエ サトシ
井上 聡

この春、広島大学を卒業し、JA広島総合病院で研修させて頂くこととなりました。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願ひ致します。



臨床研修医
タカバ アキヒロ
高場 章宏

この度、広島大学を卒業し、JA広島総合病院で研修させて頂くこととなりました。実家が地御前なので、廿日市は地元です。皆様のお役に少しでも立てるように一生懸命働かせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。



臨床研修医
クラオカ ノリマサ
倉岡 憲正

この春、広島大学を卒業し、JA広島総合病院で研修させて頂く事になりました。まだまだ未熟者ですが、少しでも役立てるように頑張りますので、よろしくお願ひします。



臨床研修医
ヒラタ アキラ
平田 旭

この春、広島大学を卒業し、JA広島総合病院で研修させて頂くことになりました。日々学んだことを精一杯吸収するように努力していきます。まだまだ未熟者ではありませんが、どうぞよろしくお願ひ致します。



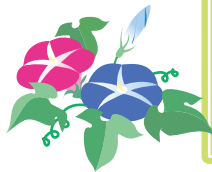
臨床研修医
モリサコ タイキ
森迫 泰貴

この3月に広島大学を卒業し、JA広島総合病院で研修させて頂くことになりました。未熟者ですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。



臨床研修医(歯科・口腔外科)
ナガセ ダイチ
長瀬 大地

この度、歯科臨床研修医としてJA広島総合病院でお世話になることになりました。少しでもお役に立てるよう精進致しますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



廿日市市と
人材交流を
はじめました



地域医療連携室
ハセガワ アイコ
長谷川 愛子

廿日市市役所からの交流派遣で地域医療連携室に配属となりました。皆様にご迷惑をおかけしてばかりの毎日ですが、市役所の中からは見えなかったものを吸収していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

各科外来診察予定表

平成23年6月1日現在

診療科		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科		初診	中増	櫻井		近藤	山岡
		再診	山岡		櫻井・近藤	櫻井・中増	近藤
		午後診療 13:30~15:30					禁煙外来 渡(呼吸器外科)・櫻井
循環器内科	初診8:30~11:00	初診	前田	藤井・佐倉	久留島	辻山	政田
		再診	辻山・久留島・佐倉	前田	政田	藤井・前田	藤井・辻山・久留島
腎臓内科		初診		中島	吉田(健)	佐々木(健)	荒川
		再診	荒川	佐々木(健)	荒川	吉田(健)	
糖尿病・代謝内科	再診8:30~11:30 (予約再診を除く)	初診	石田(和)		日域	秋山	
		再診	日域	石田(和)・日域・秋山	石田(和)・秋山	石田(和)・日域	秋山
		午後診療 13:30~15:30		日域		石田(和)	
消化器内科		初診	小松・藤本(佳)	石田(邦)・菅	徳毛・野中・菅	古土井	瀧川
		再診	徳毛・野中	小松・古土井	石田(邦)・瀧川	小松	石田(邦)・藤本(佳)・菅
神経内科		午後診療 13:30~15:30	山脇				
小児科	8:30~11:00	初再診	中畠・樋口	中畠・古井	古井・樋口	中畠・樋口	中畠・古井
	14:00~15:00	午後診療	慢性疾患 腎・肝炎・喘息等	予防接種 心臓乳児検診 (1才半から第2・第4火曜)		慢性疾患 腎・肝炎・喘息等	乳児検診 (要予約)
外科	8:30~11:00 (再診は予約制)	初再診	中光・香山・埜越	今村・加納・藤解	中光・大下・中村(浩)	香山・藤解・埜越	今村・佐々木(秀)・山口
乳腺外科	8:30~11:00 (火曜は手術の為10:00まで)	初再診	船越・菅野	船越	船越・安井	船越・菅野	船越・菅野
心臓血管外科	8:30~11:00	初再診	手術日	川本・小林	手術日	手術日	川本・小林
整形外科	8:30~10:00 (原則予約制)	初診	藤本(吉)		山田	高田・橋本 住吉・清水・高澤	
	8:30~11:00 (原則予約制)	再診	高田・橋本 住吉・清水・高澤		藤本(吉)	山田	
脳神経外科	初診8:30~11:00	初再診	黒木	渋川	黒木	湯川	渋川
	再診8:30~11:30	再診	湯川	黒木	渋川	織田	黒木
呼吸器外科	8:30~11:30 (木曜は手術の為休診)	初再診	渡	渡	渡	手術日	松浦
産婦人科	8:30~10:30	初診	藤本(英)	中西	佐野	藤本(英)	中西
	8:30~11:00	再診	佐野・皆川	藤本(英)・佐野	中西・吉川・皆川	中西・佐野	藤本(英)・皆川
	14:00~15:00	午後診療		予約診療		予約診療	
皮膚科	初診8:30~10:00 再診8:30~11:00	初再診	森川・中村(史)・木矢	森川・中村(史)・木矢	森川・中村(史)・木矢	森川・中村(史)・木矢	森川・中村(史)・木矢
	15:30~16:00	午後診療				特殊外来	
泌尿器科	8:30~11:00	初再診	丸山・池田	小深田	池田・沖	丸山・沖	小深田
		再診		丸山	小深田	小深田	丸山・池田
眼科	8:30~11:00 (再診は予約制)	初再診	二井・中村(有)	二井・中村(有)	二井・中村(有)	二井・中村(有)	二井・中村(有)
耳鼻咽喉科	8:30~10:00	初診	兼見	水野	兼見	水野	横江
	8:30~11:30	再診	水野・横江	兼見・横江	水野・横江	兼見・横江	兼見・水野
		午後診療	月曜 アレルギー(15:30~16:00) / 第2・4月曜 補聴器(13:00~16:00 予約制) (医師は交替制)				
歯科口腔外科	8:30~11:00	初再診	原田・安田	原田・安田	手術日	原田・安田	原田・安田
	14:00~16:00	午後	手術日	外来手術日 (予約制)	手術日	外来手術日 (予約制)	特殊外来 (予約制)
精神科 心療内科		病棟診療のみ					
麻酔科	8:30~11:00 (再診は11:30まで)	初再診	松本	中尾		松本	中尾
		術前診察	中尾	新澤	鳥越	本多	鳥越
画像診断部	8:30~11:00	初再診	藤川・鈴木	藤川・田村・西亀	藤川・太刀掛	藤川・鈴木	藤川・田村
放射線治療科	初診8:30~11:00	初再診	幸	桐生	幸	桐生	幸
	再診8:30~12:00	再診	桐生	幸	桐生	幸	桐生

※整形外科の初診は手術の都合により変更する場合があります。

東日本大震災における JA広島総合病院“DMAT”の活動報告

DMAT(disaster medical assistance team)とは災害や大事故の際に多数の患者を限りある医療資源で診療し、防ぎ得た死をなくすよう活動する医療チームです。

その任務は現場のトリアージ(治療の優先順位付け)や災害拠点病院での治療、患者の広域搬送を主な業務としています。活動の際、食料、水、寝床などは自給することが求められ、2泊3日が活動限度といわれています。

2011年3月11日14時46分大地震が発生し、当局より被災地に参集するよう要請されました。

TVでみた津波は腹の底から恐怖を感じたと同時に、何とかしなければとも思いました。

当院医師2名、看護師2名、調整員として技師2名が恐怖をかかえ21時に仙台に向けて出発しました。緊急出動であったため、病棟業務を終えた私は白衣の上に“あの”ピンクスーツを着込み、近くにあったわずかのチョコレートを抱えて出発したのでした。車で被災地に向かったチームも多いのですが、我々は自衛隊の協力のもと呉から輸送艦に乗艦し、途中ヘリコプターに乗り換え、厚木経由で仙台に約20時間かけて到着しました。私たちは幾度か訓練を経験はしてきましたが、実際の現場に派遣されるのは初めてです。移動の間は皆緊張し、訓練の内容を頭の中で反復・シミュレーションしていました。災害拠点病院の仙台医療センターへ到着し、活動拠点となりましたが、予想した状況とは全く異なっていました。多数の重症患者が集まり、混乱した状況を想定して準備を行っていたのですが患者があまりに少なく、ひっそりとした状態でした。宮城県内の災害拠点病院もほぼ同様の様相だったようです。患者を運びこむことができない状況だったのです。被災現場に救援に行こうにも車両が現場に入って行けませんでした。軽傷か死か、まさにそういう状況でした。こうして数名の軽症患者の治療にあたり、3月13日に仙台をあとにしました。帰路も大変でした。総合病院本部から、山形のタクシー会社に連絡をとってもらい、重たい荷物を20個以上も抱えて仙台から新潟空港へ向かい、伊丹、新大阪経由でようやく広島に帰ることができました。被災地の現状をニュースなどでみると、急性期だけでなくずっとずっと息の長い医療支援が必要だと感じています。被災地域医療は



原発事故を含め広範囲に破綻しています。このような現状に対してDMATとは違うアプローチで医療支援ができるのではないかとわれわれチーム全員は考えています。

最後になりましたが、原発事故の際に親身になって心配していただいた福田病院長をはじめ、週末に徹夜して我々をバックアップしてくれた、病院本部のスタッフのみなさまのおかげで、無事任務を行うことができました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



(左から) 放射線技師 高畑 明 医師 倉恒 正利 看護師 小林川 友美
医師 黒木 一彦 看護師 阿部 伸也 臨床検査技師 三好 正志

JA広島総合病院 脳神経外科

黒木 一彦

院内サークルだより

手話サークル Sign language

手話サークルを立ち上げてから1年が経ちました。病院で聴覚障がいを持つ患者さんが来られた時に少しでも手話で対応できるように、月2回の手話サークルを行っています。サークルでは、手話を覚えたり、手話クイズや指文字で単語を表してみたりと、楽しい交流をしています。聴覚障がいには、耳がきこえない、声が出せないなど個人差はありますが、「手話」は手と腕の動きと位置などを使って表現する会話の一つです。病院だけでなく色々なところで聴覚障がいを持つ方と出会ったら話しをしてみたい!と思う方がいると思います。皆さんも「手話」との出会いをしてみませんか。



第3回 市民公開講座 おしっこの病気について知りましょう —尿のことでお困りではないですか?—

身近だけれども、人には少し聞きづらいイメージのある尿の病気についての知識を深め、ご自身で身体の異状に早めに気づいていただくことを目的とした市民公開講座を開催します。

日時：平成23年6月5日(日)
13:00~15:00

会場：はつかいち文化ホール
さくらぴあ【小ホール】

入場無料
申込不要

【参加者の方に記念品プレゼント】

詳しくは
こちらまで

事務局/JA広島総合病院 地域医療連携室
TEL.0829-36-3111(内線2266)
<http://www.hirobyo.jp/>

講座内容



泌尿器科主任部長 小深田 義勝

・尿検査でわかる病気
・前立腺肥大症と前立腺がん
～50歳を過ぎたら要注意～



泌尿器科結石破砕主任部長 丸山 聡

女性の尿もれと治療 ~尿もれは治ります~



東棟6階看護科主任
水村 めぐみ



腎臓内科主任部長代理
荒川 哲次

尿もれ予防体操

尿検査でわかる
腎臓の病気

廿日市市福祉保健部健康推進課 保健師 中原 洋子 お知らせ

JA広島総合病院基本理念

私たちは人間愛に基づいた医療を実践し地域社会に貢献します。

【基本方針】

- 1.地域の医療機関と密接に連携した医療を提供します。
- 2.医療の安全性を高め安心できるチーム医療を提供します。
- 3.最新の知識と技術を習得し質の高い医療を提供します。
- 4.説明と同意に基づき人権を尊重した医療を提供します。

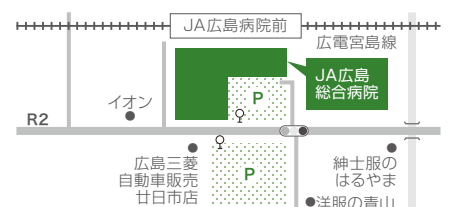
患者さんの権利

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性について説明を受け、十分な納得と同意のうえで適切な医療を受けることができます。
- 3.あなたは、今受けている医療の内容についてご自分の希望を申し出ることができます。
- 4.あなたの医療上の個人情報保護されます。
- 5.あなたに研究途上にある医療をおすすめる場合には、治療の内容や従来の治療方法との違いなどについて、前もって十分な説明をします。

外来診療のご案内

受付時間 / 8:30~11:00
休診日 / 土・日・祝日

各診療科で受付時間が異なりますので、必ず「診療科のご案内」または「外来診察予定表」をご覧ください。



JA広島総合病院 〒738-8503 広島県廿日市市地御前1-3-3
TEL.0829-36-3111(代) FAX.0829-36-5573